揮毫:田部 長右衛門

ShimaSpoだより

第77回国民体育大会　優秀選手・監督・優良団体　表彰式
令和4年12月7日　於:サンラポーむらくも

横田高校男子ホッケー部全国大会3冠達成!!
（14年ぶり2回目）

しまねレクリエーションフェスティバル
忍者ランド

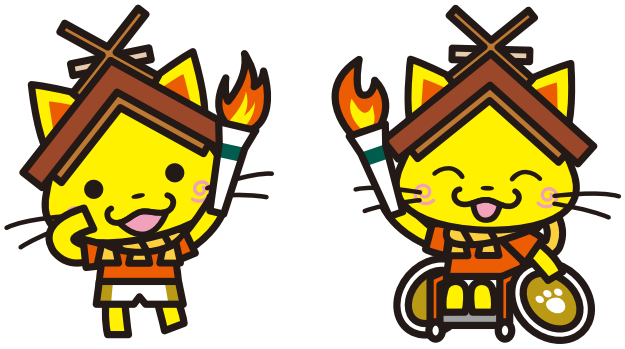
令和5年4月1日より事務所を下記に移転します。
今後ともよろしくお願いいたします。
〒690-0873 島根県松江市内中原町20-1 城南ビル3階
※電話番号、FAX番号は変更ありません

第123号
2023年３月

編集・発行
公益財団法人島根県スポーツ協会

Contents

島根県かみあり国スポ・全スポロゴデザイン決定 …1
国民スポーツ大会各競技開催地情報一覧 ……2
トップアスリート派遣事業R4年実施報告……2
機関紙「島根・トップコーチ（第106号）」より…3～5
集まれ!未来のアスリートたち!競技体験会 ……5
しまね未来のアスリートキッズ発掘・育成事業…6
令和4年度島根県スポーツ競技力向上セミナー開催…7
第77回いちご一会とちぎ国体を終えて……8
第77回国民体育大会天皇杯／皇后杯総合得点一覧…9
第77回国民体育大会島根県選手団奮闘の様子…10
第77回国民体育大会優秀選手・監督・優良団体表彰一覧…11～13
令和4年度国際競技大会（海外遠征）参加者一覧…13
特別国民体育大会冬季大会 ……14
熱中できる遊びで子どもたちの未来を創ろう! …15
しまねレクリエーションフェスティバル開催…15
島根県内総合型地域スポーツクラブ紹介……16
全国スポーツ少年団交流大会へ! ……17
島根県内競技別交歓会 ……18
令和4年度（公財）島根県スポーツ協会賛助会収入…19～22
「賛助会員」について ……22



決定!!

自分を超えろ、神話をつくれ

島根かみあり国スポ・全スポ 2030

第84回国民スポーツ大会　第29回全国障害者スポーツ大会

【島根かみあり国スポ・全スポ】ロゴデザイン決定

- 「かみあり」に「銅剣」「勾玉」「雲」を文字の一部として取り入れることで、色と形がデザインのオリジナリティを高め、島根らしさを後押ししています。
- 開催年の2030には炎をデザインのポイントとして使用し、スポーツの熱量を表現しています。
- デザインに用いた色は、銅剣、勾玉をイメージした「緑色」、神々しさ、しめ縄をイメージした「金色」、炎、夕日をイメージした「橙色」の三色になります。この三色が組み合わさり「島根かみあり国スポ・全スポ」の色イメージとして定着させます。
- 多くの人に「文字が読みやすく」「読み間違えにくい」ユニバーサルフォントも取り入れています。
- マスコットキャラクターの、島根県観光キャラクター「しまねっこ」には、緑・金・橙色を用いたウェアと炬火を着用させ、国スポ・全スポ専用デザインとして表現しています。

「島根かみあり国スポ」
競技別デザインが完成!!

横田高校
男子ホッケー部
「三冠」
おめでとうにゃ！

各競技デザイン（PDF）は
こちら

Youtube「しまねっこCH」にも
紹介動画をアップしています。

しまねっこCH

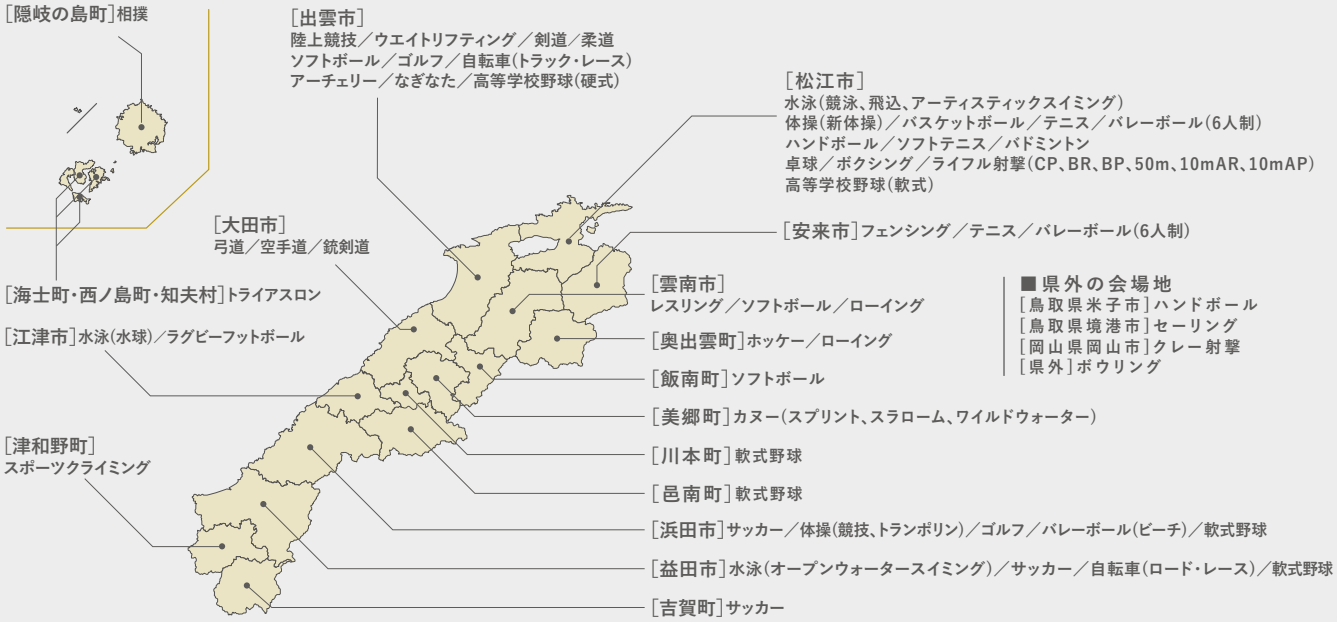
是非
みてね!!

https://youtu.be/duxNI2tVFFA

使用については、島根県スポーツ振興課HP「ロゴデザインの使用について」を参照ください。

<https://www.pref.shimane.lg.jp/life/bunka/sports/dai84kaikokusupo_dai29kaisyouspo/aishou/logodesign.html>

国民スポーツ大会　各競技開催地情報一覧



好きな競技、地元で開催される競技を応援しよう

トップアスリート派遣事業　R4年実施報告!!

島根かみあり国スポに向けてジュニア層の意識啓発と競技力の向上を図るため、
県内小学校や義務教育学校を対象として、各競技のトップアスリート等を派遣する事業を実施しています。

柔道
出雲市立高松小学校
平岡拓晃氏：柔道オリンピアン

体操
益田市立吉田小学校
鹿島丈博氏：体操競技オリンピアン

バスケットボール
松江市立乃木小学校
広瀬健太氏：元プロバスケット選手

空手道
大田市立池田小学校
荒賀龍太郎氏：空手道オリンピアン

ソフトボール
雲南市立西日登小学校
宇津木妙子氏：元オリンピック日本代表監督

陸上
出雲市立北浜小学校
川内優輝氏：プロランナー

【問合せ先】
第84回国民スポーツ大会・第29回全国障害者スポーツ大会島根県準備委員会事務局
〒690-8501　島根県松江市殿町１番地（スポーツ振興課内）／TEL：0852-22-6096

機関紙

島根・トップコーチ

第106号

第106号は、本県高校カヌー競技の指導者として、数々の好成績を収める等、素晴らしい活躍をされている島根中央高校カヌー部顧問の堀田育子先生にご登場いただきました。この素晴らしい活躍までの軌跡と自らが大切にしていることを語っていただきました。

『 意志あらば道拓く 』

島根県立島根中央高等学校
カヌー部顧問　堀田育子

1．はじめに

私の人生は、カヌー競技と出会ってから今日まで、決して平坦な道のりではありませんでした。想像もしていなかった出来事が起こり、悩んだり、苦しんだり、そしてたくさんの人達との貴重な出逢いがあり、波瀾万丈な人生でした。

この度、約40年間のカヌー人生を振り返る機会を頂き感謝と同時に、この波瀾万丈な人生をどのように表現すればよいのか大変悩みました。40年間の私の生様を書いたところで大して面白くもないでしょう。でも、いろいろな体験をしたことが、これから国スポ島根大会に向けて第一線で戦う若人たちの指導に少しでもヒントとなればと思い書いてみることにしました。

2．指導者として大分県へ

【ゼロからのスタート年間の軌跡】

1987年6月、大学を卒業して2か月、カヌー競技を引退し島根県に帰郷しました。その後、江津市の小学校で臨時講師をしながら、時間があるときは江の川高校（現在の石見智翠館高校）のカヌー部の練習を観に行っていました。選手として生きていく事に疲れを感じて引退した私でしたが、目標をもって取り組んでいる生徒たちの姿を見て、「カヌーの指導に携わりたい。自分の生徒にカヌーを教えたい」と思うようになりました。

そんな時「大分県でカヌーの指導者を探している。堀田行ってみないか？」という話を頂いて、自分の中で「指導してみたい」という思いが強くなりました。反対する母には本音が言えず、「行く気はない」と言い続けていました。父が母に「大分県行きは自分で決めさせる。自分たちが邪魔をしてはいけない。この子は今まで自分の意志で生きてきた子だ」と話してくれたようで、母が「自分で決めなさい」と言ってくれた時には「頑張ってみたい」と即答したのを覚えています。

1988年4月1日、大分県に入り、私の目に一番に飛び込んできたのが大分川でした。穏やかで雄大な大分川に一目ぼれをしてしまいました。まだ出逢っていないカヌーの教え子達と大分川で練習ができると思うだけで心がワクワクしました。

そして、大分県立大分舞鶴高校に非常勤講師として勤務が決まり、カヌー同好会が発足しました。同時に、前年度にカヌー部発足の大分桜ケ丘高校（現在　楊志館高校）との合同練習が始まりました。大分県に来る前に言われたことは、「環境が整っている」（艇やパドルがある、艇を置く場所がある）「やる気のある生徒がいる・・・。」全くありませんでした。全てがゼロからのスタートでした。艇もない、パドルもない、お金もない、やる気のある選手もいない。「１年間頑張って島根に帰ろう」と心に決めました。

大分県に赴任してゼロからのスタートでしたが、たくさんの方々のご支援と生徒たちの努力のお陰でどんどん競技力が上がっていきました。島根県に帰りたいと思う暇がないくらい毎日必死に戦いました。艇庫を持たない私たちに、土地と建物を提供してくれた秋月さん（故秋月計器会長）や、廃棄処分になった艇を譲ってくれた先輩のお陰で頑張ることが出来ました。水道のない小屋では、井戸水をくみ上げて、まずは艇を洗い次に自分の顔を洗うというのが生徒の中では常識になっていました。譲ってもらった艇の中には半分に折れた艇もあり、樹脂で固めて乗れるようにするなど、できることは何でもやりました。台風が来る度に小屋に水が流れ込み、生徒たちと溜まった水を外に出すという作業をして練習をしていました。それが当たり前であるかのように一生懸命に作業をしている生徒達を見ると、涙があふれ「悔しい！絶対に勝たしてやる！」と心に誓いました。決して恵まれた環境ではありませんでしたが、少しずつ、全国で戦える選手が育ち、新しい艇も増え徐々にカヌー王国へと近づいていきました。

1994年には初の日本代表が育ち、1996年には５名の日本代表が育ち、第51回広島国体で初の競技別総合優勝を勝ち取ることが出来ました。第52回大阪国体で２年連続競技別総合優勝を勝ち取り、５名の日本代表選手を輩出しました。それから、毎年日本代表選手が育ち、国体や全国大会で上位入賞者が増えていきました。「カヌー王国大分」と呼ばれるようになりました。

2000年（平成12年）に、高校生のためにカヌー艇庫が完成し、「有難い」という思いと同時に「不安」な気持ちになったのも事実でした。それまでの私達は、ハングリー精神のもと戦っていたので、「こんなに幸せになっていいのか」と心配になりました。実際、25年間で競技別総合優勝５回のうち３回は旧艇庫でした。昔は、ハード面が充実していないことで逆に工夫して練習に取り組んでいました。鉄棒がなくても、建物を利用して懸垂をし、ウエイト器具がなくても、自然を利用してトレーニングすることが出来ました。新艇庫が建ったことで、台風や、水害の心配もなく、艇を室内に保管できるようになりました。恵まれた環境は、有り難いことでそれを使う私たちがどのような心構えで使用するかが大切だと知りました。生徒たちは、恵まれた環境の中で着実に力をつけていきました。

2007年第62回秋田国体、2008年第63回チャレンジ大分国体で２年連続競技別総合優勝を勝ち取り、選手た

ちと共に最高の喜びを味わうことが出来ました。

大分国体が終わって、監督としての区切りをつけて後進の育成に力を入れるべきだと判断しました。次年度の新潟国体では総合優勝は逃しましたが、大活躍でこれからの大分県カヌーを教え子に託すことに後悔はありませんでした。

2013年２月、応援してくれた父の看病のために退職をして島根県に帰郷することを決意しました。突然の決断に多くの方々を驚かせ、ご迷惑をお掛けすることになりました。２ヶ月という短い時間で大分県カヌーをこれまで以上に躍進させるための手筈を整え、4月5日大分県を後にしました。

3．記憶に残る6回の国体

① 第51回広島国体（1996年）

大分県に赴任して9年目にして初めてのカヌー競技別総合優勝【103点】を獲得。

大分県に来てゼロからのスタートで頂点に。少年勢全員が入賞しての総合V。

② 第52回大阪国体（1997年）

2年連続のカヌー競技別総合優勝【103点】を獲得。

2004年アテネオリンピック代表の足立美穂が2年連続で優勝して総合優勝に貢献。

ジュニア日本代表選手が活躍、3種目で優勝して総合優勝に貢献。

③ 第54回熊本国体（1999年）

カヌー競技別総合優勝【109点】

会場が水俣湾で荒れたコースに苦戦。優秀な選手たちが続々と沈没していき、まるで生き残りゲームのような状況に大分県と熊本県の選手は、確実に決勝に勝ち上がり、最後の少年男子カヤックフォアの順位でどちらかの総合優勝が決まるという場面で、大分県が熊本県より一つ上位で総合V。皆で抱き合って喜んだことを昨日のことのように思い出す。

④ 第62回秋田国体（2007年）

カヌー競技別総合優勝【212点】

大分国体を翌年に控えて少年勢は最強ともいうべき布陣が揃う。競技得点212点は、過去最高得点。「大分国体はすでに始まっている」を合言葉に挑んだ大会。選手たちと大分国体の目標が2年連続5回目の総合優勝をすることだと大会前に決めていた。秋田国体優勝は大分県カヌーが一つになった瞬間だった。大分国体が楽しみになった。

⑤ 第63回大分チャレンジ国体（2008年）

2年連続５回目のカヌー競技別総合優勝【186点】

前年の秋田から大分国体は始まっていた。しかし、昨年とは違うメンバーで戦っていかなければならない。少年勢の層の薄さ，成年勢の怪我等で心配は尽きなかった。中々仕上がらないことに焦りを感じていた。秋田国体が終わってからは、週末・長期休業は合宿の連続。「一人が勝てば良いわけではない、全員入賞！」を目指した。「総合2連覇」という目標があったからみんなで頑張ることが出来た。

4日間の競技日程で前半の500mで100点獲得。大分国体186点を獲得して2年連続5回目の総合優勝を達成した。卒業生が、選手として、競技役員として盛り上げた国体。ブロンズ像を手にした時は大分県カヌーが一つになった瞬間だった。大分県に来て、本当に良かったと思えた幸せな瞬間だった。来年は第64回新潟国体・・・総合3連覇を狙わないわけにはいかない。新たな目標を立てて新潟に向けてスタートした。

⑥ 第64回新潟国体（2009年）

カヌー競技別総合準優勝【130点】

新潟の会場は海。荒波で熊本国体を思い出すような最悪な会場。大会前に穏やかだったコースが一変。最悪な状況にも、選手たちは最後まであきらめずに戦い抜いた。新潟国体目標は150点獲得の総合V。この年は愛知県・山形県・香川県など熾烈な戦いのため得点が割れた。愛知県に3点差で敗退の準優勝。選手たちは、「自分たちがあと一つ順位を上げれば」と泣いた。皆で戦って、やっと大分国体が終わった。

4．大切にしていること

【心掛けていること】

・今を大切にする。見て見ぬふりをせず大事なことはその時に伝える。昔の負けたときの辛さが蘇る。
・生徒と一緒にいる《とにかく生徒を観る》
・生徒の気持ち・技術を観る目が大切。
・生徒の体調まで観えてくる。
・生徒の姿は自分の姿だと思うようにした。
・生徒を変える前に自分が変わらなければならない。
・今までも、練習を大事にしてきたが、とにかく生徒の考えていることを少しでも理解するために練習を一番大切にする。
・昔のように、勝ちたいという思いは変わらないが、今は、過程を大事にできるようになった。
・毎日生徒と一緒にいたら、目標に向けてたくさん悩み、頑張っているのがわかるので、試合で生徒が出した結果であれば何でも良いと思えるようになった。
・毎日の練習は、とても厳しい。大会で生徒を泣かすわけにはいかない。
・後悔はしたくない。今この瞬間は二度とない！！
・生徒は目標達成するために私のもとにいる。だから私がいい加減ではいけない。
・結果を出してやらなければならない。
・本気で向き合う！！
・練習で泣かして試合は笑わせる。これが私のやり方。
・嫌われてもかまわない。負けたときの涙を見るよりは・・・・。
・生徒は、指導者の本当の姿、思いを知ったら、自分の目標達成のために精一杯頑張る。
・私も生徒のように純粋でありたい。いつも本音で本気でぶつかっているつもり。
・指導者は、手を抜いてはいけない。
・毎日が真剣勝負！
・いくら話が上手くても子どもはだませない。
・1 ～ 3年かけて、じっくり信頼関係をつくっていかなければならない。1年生で、生活態度、人の気持ちのわかる人、心を大切に出来る人になる。それをしていな

いと、2、3年で目標達成はない。

・試合を通してとにかく何かを感じてほしい。
毎日一所懸命生きていたら、心が動くことがたくさんある。勝っても、負けたとしても何かを感じることが大切。喜び、悔しさ、辛さ、全て次につながることだと思うから何かを感じてもらいたい。

・生徒の目標と私の目標は同じ、ひとつでなくてはならない。私は、常に高い目標をもっていたい。

・冬練習での指導中は手袋をしない。

・自分の進んでいる道を踏み外すことなく一所懸命生きていたら必ず良いことがある。意志があるのならば道は開く。“意志あらば道拓く”

5．第３のカヌー人生をスタート

【～運命のままに～】

父の看病のために島根県に帰省して、１年間は父と一緒に過ごすことが出来ました。長い間、わがままのし放題で、心配をかけました。自己満足ですが、悔いなく送り出すことが出来ました。

父の死後、飲食店の店主として働いてはいましたが、やはりカヌーへの思いを絶つことはできませんでした。そんな中、奇跡的に「島根県の教員採用が全校種・職種で59歳まで年齢制限の緩和措置がとられた」という事で、教職に就く従兄から「受けてみたら」と連絡があり、思い切って受験しました。52歳にして親子ほどの年の差のある受験生達と受けた採用試験は最高で、採用試験のための勉強や実技試験や小論文対策も心から楽しむことができました。

今は、島根中央高校（邑智高校）で選手達と「日本一・世界で入賞」を目指して日々頑張っています。私のカヌー人生は、おそらく島根中央高校で最後になることと思います。

これまでの人生を振り返り、全ての出来事がこの島根中央高校に戻って来るためのものであったのではないかと思えてなりません。だから、私は、瀬古先生が35年間大切に守り続けたカヌー部を引き継ぎ、選手達が次のステージで幸せに生きてくれることを願い、最後まで今を大事に頑張りたいと思います。

【堀田育子（ほった いくこ）】

島根県立島根中央高等学校教諭。島根県大田市出身。大学卒業後、大分県においてカヌーの指導にあたり、その間、大分県を「カヌー大国」まで押し上げる。2013年に島根県に戻り、2017年から県立島根中央高校に勤務。以来、本県の高校カヌー競技の指導者として、全国高校総体や国体において数々の好成績をおさめ、令和３年度にはその年に最も輝いた指導者に贈られる「岡田善富賞」を受賞した。

44名の中から国体選手が現れる!?
集まれ!未来のアスリートたち!競技体験会

令和４年11月20日（日）に出雲ドームにて、競技体験会を開催しました。

小学３・４年生を対象に応募者を募ったところ、総勢44名の児童が参加し、10競技のなかから、自身が興味を持った５競技を体験しました。１競技20分という短い体験時間でしたが、参加者や保護者からは「初めて体験する競技が多く、とても楽しかった。」「もっと沢山体験したかった。」などの声がありました。

【実施競技】
（計10競技）

しまね未来のアスリートキッズ 発掘・育成事業

将来、世界で活躍するアスリートの輩出や2030年に島根県で開催される国民スポーツ大会で活躍するアスリートの育成を目指し、身体を動かす楽しさや喜びを体験し、運動能力の優れる子どもを発掘・育成します。

発掘 ～スポーツ能力測定会～

（一社）スポーツ能力発見協会の協力を得て、スポーツ能力測定会を実施しました。

測定会に参加した児童の測定結果をもとに東部地区32名、西部地区25名、合計57名を島根アスリートキッズ第2期生に選考しました。

日時、会場、参加者数

- **西部地区**　令和4年11月5日（土）　島根県立体育館（浜田市）　参加者　41名
- **東部地区**　令和4年11月6日（日）　斐川第一体育館（出雲市）　参加者　136名

測定会の様子

10mスプリント

10メートルを全力で走り、専用の測定器でスピードを測定しました。

リカバリーバランス

専用の測定器を使用し、左足と右足のバランス力を測定しました。
左右のバランス力の差も測定しました。

反応ステップ

合図と同時に左足と右足を全力で交互にステップし、専用の測定器で反応力と短持久力を測定しました。

評　価

専門の指導員が測定結果を評価し、自分に適しているスポーツを紹介しました。
また、能力向上につながるトレーニング方法などのアドバイスも受けました。

※その他「**敏捷性**」「**ジャンプ力**」「**スイングスピード**」も測定しました。

島根から全国・世界で活躍する選手の育成を目指して！！

令和5年2月6日（月）

島根県民会館において、「令和４年度島根県スポーツ競技力向上セミナー」を開催し、2030年に本県で開催される国民スポーツ大会（現：国民体育大会）に向けて強化の中心となる指導者（約72名）が参加しました。

今回のセミナーは、全体会・分科会の２部構成にて行い、今後の指導に向け、新しい視点からヒントを得るきっかけとなり、専門的な知識を得ることが出来た講演会となりました。

研修１　全体会

『選手と向き合い、自分と向き合う』

講師　石原孝尚氏
㈱Brilliant Future Consulting代表取締役・湘南ベルマーレU-15ガールズ監督

INAC神戸の監督としてチームを史上初の４冠に導くなど、サッカーの指導者だけでなく、企業・組織のアドバイザーなど、多彩な方面で活躍されている経験をもとに、ご講演いただきました。参加者からは、「選手は無限に可能性があると改めて感じた。」「大切なのは、目の前の選手と向き合うこと、特徴を捉えることだと感じた。」など、新たな発見や気付きに対しての声が多く聞かれました。

研修２　分科会

第１分科会　『チームビルディング～女性アスリートの能力を引き出す指導～』

講師　石原孝尚氏

国内外の数多くの女性アスリートと出会い、指導をしてきたなかでの体験や感じたことをご講演いただきました。話を聞くだけでなく、参加した指導者同士で現在抱えている悩み等を、ディスカッションする場を設けていただき、他競技の指導者が抱える問題を知り、解決に向けて話し合うなど今後の指導に活かすための良い機会となりました。

第２分科会　『パワーを生み出すメカニズム』

講師　小村康平氏　島根県AT協議会 教育部 副部長

現在、アスレティックトレーナーとして、全国大会等に帯同されており、専門的な知識だけでなく、現場での経験もふまえてご講演いただきました。実技も取り入れながらの講演は、非常に分かりやすく、指導者が体の構造などを理解したうえで指導することの重要性を感じる講演となりました。

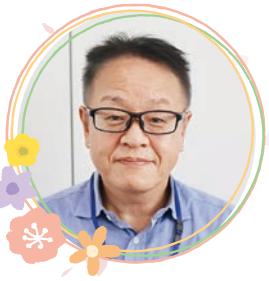
第３分科会　パネルディスカッション『勝ち続けるためにすべきこと』

コーディネーター　木村和彦氏　（公財）島根県スポーツ協会競技力向上委員長
パネリスト　曽田明浩氏　大社高校男子剣道部顧問
堀田育子氏　島根中央高校カヌー部顧問

県内で活躍する２名の指導者から、勝ち続けるために自身がしていることやすべきことを実際の経験や実践例をもとにパネルディスカッション形式でお話しいただきました。全国で活躍する選手の育成方法や両指導者の高い意識に基づくお話を聞き、受講した指導者からの質問についての意見交換も行うことで、受講した指導者はエネルギーを受け、モチベーションの向上につながる分科会となりました。

第77回いちご一会とちぎ国体を終えて

島根県環境生活部スポーツ振興監
（本大会総監督）　中　澤　信　善



第77回国民体育大会本大会は、愛称「いちご一会とちぎ国体」として栃木県を主会場に、また、冬季国体はスケートが栃木県日光市、スキーが秋田県鹿角市で開催されました。

今年の国体には、本県から選手・監督・役員として冬季大会に25（うち選手9）名、本大会には443（うち選手325）名を派遣しました。本大会の選手の派遣人数は、現在の参加基準になった第63回大分国体以降で最多となりました。これは、中国ブロックを突破した競技・種目数が近年では一番多かったためです。

また、中国ブロックを1位突破した種目も近年では非常に多かったため、本番の国体でも活躍が期待され、目標として、総合得点800点台、天皇杯順位30位台を掲げて本大会に臨みました。

私も現地に応援に行きましたが、選手の皆さんがひたむきにそれぞれの競技と向き合う姿には心から感動しました。

結果としては、本大会では、10競技24種目で入賞し、総合得点680点、天皇杯順位43位となり、目標を達成することはできませんでした。

今後、2030年開催予定の島根かみあり国スポでの天皇杯・皇后杯の獲得に向け競技力向上の取組を強化していきたいと考えていますが、さまざまな課題もあります。

ひとつは、入賞競技数の増加です。他県と比較しても入賞競技数が少ないため、ひとつひとつの競技・種目のレベルアップを図り、現在入賞していない競技で入賞ができるよう競技力を高めていくことが必要です。

また、本県では、少年種別の得点が例年全体の7割近くを占めています。その意味で少年の強化は非常に重要であり、国スポのターゲットエイジを対象としたさまざまなプログラムの実施など、継続して取り組んでいく必要があります。

一方、成年については、大学が少ない上に、実業団チームもほとんどない本県では、選手の確保自体が課題です。少年種別で活躍した選手が成年種別でも活躍できる環境を整えるとともに、有力選手のUIターンやふるさと選手の確保も進めていく必要があります。

このような課題を少しでも克服し、「島根県競技力向上計画」に掲げる年次進行の目標順位・得点を達成するため、今後とも、島根県競技力向上対策本部を中心に各競技団体や関係機関と連携しながら競技力向上の取り組みを進めてまいります。

第77回国民体育大会

天皇杯／皇后杯 総合得点一覧表

男女総合（天皇杯）			女子総合（皇后杯）		
順位	都道府県名	得点	順位	都道府県名	得点
1位	東京	2436	1位	東京	1311
2位	栃木	2270.5	2位	栃木	1092
3位	埼玉	1932.5	3位	愛知	1027
4位	愛知	1766	4位	埼玉	1006
5位	大阪	1737.5	5位	大阪	907.5
6位	神奈川	1659.5	6位	兵庫	847.5
7位	千葉	1490.75	7位	岐阜	836
8位	福岡	1380.5	8位	神奈川	820
9位	北海道	1348.5	9位	京都	793.5
10位	京都	1332.5	10位	千葉	786.5
11位	兵庫	1329	11位	福岡	756.5
12位	三重	1325.5	12位	鹿児島	724.5
13位	岐阜	1321	13位	長野	703
14位	鹿児島	1218.5	14位	佐賀	701
15位	長野	1152.5	15位	三重	690
16位	岡山	1135.5	16位	群馬	655
17位	静岡	1116.5	17位	静岡	648.5
18位	福井	1114	18位	福井	626.5
19位	茨城	1107	19位	広島	623
20位	滋賀	1096.5	20位	石川	621.5
21位	佐賀	1095.75	21位	北海道	619.5
22位	群馬	1040	22位	愛媛	618
23位	愛媛	1003.5	23位	岡山	612
24位	大分	989	24位	滋賀	608
25位	奈良	893.75	25位	宮城	568.5
26位	広島	893.5	26位	山形	567.5
27位	宮城	886.5	27位	大分	561
28位	石川	870.5	28位	岩手	559
29位	富山	855.5	29位	富山	555.5
30位	岩手	847.5	30位	茨城	555
31位	秋田	840.5	31位	宮崎	537.5
32位	宮崎	834.5	32位	奈良	528
33位	山梨	816.5	33位	山梨	520.5
34位	沖縄	804.5	34位	沖縄	507.5
35位	新潟	801.5	35位	熊本	496
36位	香川	800	36位	和歌山	483
37位	熊本	797.5	37位	秋田	482
38位	山口	781	38位	新潟	475.5
39位	和歌山	761.5	39位	青森	474.5
40位	山形	761.25	40位	鳥取	462.5
41位	福島	733	41位	**島根**	452.5
42位	青森	727	42位	香川	450.5
43位	**島根**	680	43位	山口	449.5
44位	鳥取	679.5	44位	徳島	426
45位	長崎	676	45位	福島	423.5
46位	高知	673	46位	高知	394
47位	徳島	607	47位	長崎	369.5
	合計	51420		合計	29933

特別国民体育大会冬季大会終了

〇スケート競技

日時：令和5年1月28日～2月2日

会場：青森県八戸市

参加選手・監督数：3名

〇スキー競技

日時：令和5年2月17日～2月20日

会場：岩手県八幡平市

参加選手・監督・コーチ数：16名

※競技結果等についてはP14に記載しています。

第77回国民体育大会（いちご一会とちぎ国体）島根県選手団
奮闘の様子

総合開会式時の集合写真

卓球（少年男子）

カヌー（少年男子　片伊勢・漆谷ペア）

陸上競技（吉迫選手：写真右）

ライフル射撃（松尾選手）

ホッケー（少年男子）

自転車競技（ロード）

フェンシング（成年女子）

弓道（成年女子）

セーリング（少年男子）

第77回国民体育大会
優秀選手・監督・優良団体表彰受賞者一覧表

（1） 優秀選手・監督（91名）

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	備考
1位	ホッケー	少年男子		松下智哉	横田高等学校（3年）	
				森山哲成	横田高等学校（3年）	
				前田凌吾	横田高等学校（3年）	
				松﨑航也	横田高等学校（2年）	
				児玉陽向	横田高等学校（3年）	
				佐伯昂大	横田高等学校（3年）	
				吉岡慶真	横田高等学校（3年）	
				西村洸希	横田高等学校（2年）	
				長谷川柊	横田高等学校（3年）	
				木村真琉	横田高等学校（2年）	
				古川優雅	横田高等学校（2年）	
				戸屋響哉	横田高等学校（1年）	
				安部成煌	横田高等学校（1年）	
		監督		伊藤直登	横田高等学校（教）	
2位	陸上競技	少年男子共通	5000mW	吉迫大成	島根中央高等学校（3年）	
		監督		吉川正展	大田高等学校（教）	
	カヌー	少年男子	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾔｯｸﾍﾟｱ500m	植田士虎	島根中央高等学校（3年）	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾔｯｸﾍﾟｱ200m　3位
				河野賢晃	島根中央高等学校（2年）	
		監督		大畑篤郎	出雲農林高等学校（教）	
3位	陸上競技	少年男子A	棒高跳	土江真翔	大社高等学校（3年）	
			やり投	松田孝太	大社高等学校（3年）	
		監督		石倉一希	開星高等学校（教）	
	ホッケー	少年女子		安部心愛	横田高等学校（2年）	
				藤原千佳	横田高等学校（3年）	
				宮内ひとみ	横田高等学校（3年）	
				田辺真琴	横田高等学校（3年）	
				矢壁乃音	横田高等学校（3年）	
				青戸亜弥菜	横田高等学校（3年）	
				林煌莉	横田高等学校（2年）	
				景山和葉	横田高等学校（2年）	
				宮本紗樹	横田高等学校（2年）	
				吉岡真南	横田高等学校（2年）	
				佐伯歩乃花	横田高等学校（2年）	
				上野夕貴	横田高等学校（2年）	
				藤田ゆら	横田高等学校（1年）	
		監督		恩田賢二	横田高等学校（教）	
	卓球	少年男子		小野泰和	出雲北陵高等学校（1年）	
				杉浦大和	出雲北陵高等学校（3年）	
				佐藤卓斗	出雲北陵高等学校（2年）	
		監督		古瀬泰之	出雲北陵高等学校（教）	

順位	競技名	種別	種目	氏名	所属	備考
3位	ライフル射撃	成年男子	CFP30	石田　亮	島根県警察本部	
		監督		野津武志	ナショナル・ベンディング(株) 島根営業所	
	カヌー	少年男子	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾅﾃﾞｨｱﾝﾍﾟｱ200m	片伊勢志哉	出雲農林高等学校(3年)	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾅﾃﾞｨｱﾝﾍﾟｱ500m　3位
				漆谷海里	出雲農林高等学校(3年)	
		少年女子	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾔｯｸﾌｫｱ200m	三島まりあ	出雲農林高等学校(3年)	ｽﾌﾟﾘﾝﾄｶﾔｯｸﾌｫｱ500m　4位
				橋本寧々	出雲農林高等学校(3年)	
				廣戸舞	出雲農林高等学校(2年)	
				周藤はるか	出雲農林高等学校(2年)	
5位	ホッケー	成年男子		膳棚大剛	奥出雲町立横田中学校(教)	
				門脇軍馬	頓原郵便局	
				藤原泉	大東郵便局	
				若槻省吾	雲南消防本部雲南消防署	
				野原朋弥	しまね信用金庫	
				内田直輝	奥出雲町役場	
				糸原佳汰	(株)糸原左工房	
				佐伯尚憲	立命館大学(4年)	
				渡部純	天理大学(1年)	
				松﨑唯斗	天理大学(1年)	
				二澤未来也	山梨学院大学(3年)	
				藤原光輝	立命館大学(2年)	
				嵐谷迅	聖泉大学(2年)	
				佐伯郁海	福井工業大学(3年)	
	レスリング	成年男子	ﾌﾘｰｽﾀｲﾙ57kg級	澤谷孟	国士舘大学(4年)	
			ﾌﾘｰｽﾀｲﾙ65kg級	中村勇士	日本体育大学(4年)	
		監督		澤谷隆成	松江工業高等学校(教)	
	フェンシング	成年男子	サーブル	小谷太洋	セコム山陰(株)	
				津森志道	法政大学(1年)	
				伊藤綾将	朝日大学(1年)	
	バドミントン	成年女子		髙崎夏実	(株)山陰合同銀行	
				矢﨑月子	(株)山陰合同銀行	
				田部真唯	(株)山陰合同銀行	
		監督		丸岡智子	(株)山陰合同銀行	
6位	ラグビーフットボール	女子		大橋聖香	石見智翠館高等学校(3年)	
				長利奈々	慶応義塾大学(3年)	
				黒川碧	(一社)Tokyo Athletic United	
				下村真帆	石見智翠館高等学校(3年)	
				永山風桜	立正大学(1年)	
				杉本七海	立正大学(4年)	
				宮本和	石見智翠館高等学校(3年)	
				城下天李	石見智翠館高等学校(3年)	

順位	競　技　名	種　　別	種目	氏　　名	所　　属	備　　考
6位	ラグビーフットボール	女子		石　田　茉　央	法政大学(2年)	
				冨　岡　日　和	石見智翠館高等学校(3年)	
		監督		磯　谷　竜　也	石見智翠館高等学校(教)	
7位	陸上競技	少年男子A	走幅跳	須　藤　広　征	石見智翠館高等学校(3年)	
	セーリング	少年男子	レーザーラジアル級	豊　島　有　壮	松江工業高等専門学校(3年)	
		監督		大　門　伸　之	隠岐水産高等学校	
	フェンシング	成年女子	エペ	石　原　加　奈　子	(株)山陰合同銀行	
				田　中　那　海	日本大学(4年)	
				内　田　樹　里	(公財)島根県スポーツ協会	
	ライフル射撃	少年女子	BP60WJ	山　本　眞　綺	立正大学淞南高等学校(3年)	
8位	ライフル射撃	少年女子	BR60WJ	松　尾　明　優　奈	立正大学淞南高等学校(2年)	

(2)　優良団体(4団体)

競技団体名	成績	備考
島根県ホッケー協会	男女総合成績第3位、女子総合成績第5位	
島根県バドミントン協会	女子総合成績第7位	
島根県ラグビーフットボール協会	女子総合成績第6位	
島根県カヌー協会	男女総合成績第7位	

令和4年度　国際競技大会(海外遠征)参加者一覧

令和5年3月6日現在

氏　名	所属	大　会　名	競　技	派　遣　先	派　遣　期　間
三浦龍司	順天堂大学（３年）	第18回世界陸上競技選手権大会	陸上競技	アメリカ国　オレゴン州	7/15～7/24
津森志道	法政大学（１年）	2022年度フェンシング世界選手権大会	フェンシング	エジプト国　カイロ市	7/10～7/24
		ワールドカップグランプリチュニジア大会		チュニジア共和国　チュニス市	1/9～1/17
		シニアワールドカップ ポーランド大会		ポーランド国　ワルシャワ市	2/6～2/12
		ジュニアワールドカップ フランス大会		フランス国　ドゥルダン市	2/18～2/19
遠藤駿斗	安来高校（３年）	ジュニアワールドカップ セルビ大会	フェンシング	セルビア国　ヴルシャツ市	2/15～2/22
三島まりあ	出雲農林高校（３年）	2022ICFジュニア・U23カヌースプリント世界選手権大会	カヌー	ハンガリー国　セゲド	8/26～9/6
橋本寧々	出雲農林高校（３年）				
大畑篤郎	出雲農林高校教諭				
三島まりあ	出雲農林高校（３年）	2022アジアパシフィック大会	カヌー	石川県　小松市	9/27～10/2
橋本寧々	出雲農林高校（３年）				
廣戸　舞	出雲農林高校（２年）				
周藤はるか	出雲農林高校（２年）				
吉村颯人	島根中央高校（１年）				
河村大樹	島根中央高校（１年）				
河野文晃	島根中央高校（１年）				
河野賢晃	島根中央高校（１年）				
大畑篤郎	出雲農林高校 教諭				
堀田育子	島根中央高校 教諭				
林田尚恵	島根県ボウリング連盟	第16回アジアシニア選手権大会	ボウリング	マレーシア　セランゴール州	11/9～11/15
佐伯郁海	福井工業大学（３年）	U21スルタンジョホールカップ	ホッケー	マレーシア　ジョホールバル	10/22～11/29
松﨑唯斗	天理大学（１年）				
渡部　純	天理大学（１年）				
佐伯昂大	横田高校（３年）	第29回スルタンアズランシャーカップ	ホッケー	マレーシア　イポー	11/1～11/10
青山夢斗	周南公立大学（４年）	ダン・コロフ・ニコラ・ペトロフ国際大会	レスリング	ブルガリア共和国　ソフィア市	2/26～3/8

特別国民体育大会冬季大会

スケート競技『未来へつなぐ 八戸国体』 会期 令和5年1月28日(土)～2月 2日(木)

スキー競技『いわて八幡平 白銀国体』 会期 令和5年2月17日(金)～2月20日(月)

スケート競技会

特別国民体育大会冬季大会スケート競技会が青森県八戸市で開催されました。本県からは、スケート・ショートトラック競技に成年男子1名、少年男子1名が代表選手として出場しました。

▶ ショートトラック

1月28日(土)～29日(日) に青森県八戸市のテクノルアイスパーク八戸にて開催されました。

成年男子中村選手、少年男子青戸選手共に残念ながら予選敗退となりましたが、堂々としたレースを展開しました。

写真左:中村選手

成年男子
中村一平
(湖遊館スケートクラブ)
500m 予選6組 3着
1000m 予選8組 3着

青戸選手コメント

今回の国体は僕にとって少年の部最後の大会でした。練習で指導を受けた点を意識しながら、レースに全力を尽くしましたが、いずれも予選敗退となりました。結果は悔いの残るものでしたが、自身の改善すべき点を確認できた次につながる良いレースとなりました。大学進学後は自主的に工夫して練習に取り組み、成年の部でも代表選手になって、これまで以上の結果が出せるように頑張っていこうと思います。

写真左:青戸選手

少年男子
青戸智大
(松江農林高校3年)
500m 予選3組 3着
1000m 予選3組 3着

スキー競技会

2月17日(金)～20日(月)に岩手県八幡平市の安比高原スキー場(ジャイアントスラローム)、田山クロスカントリーコース(クロスカントリー)にて開催されました。本県からは、ジャイアントスラローム9名(成年男子2名・少年男子3名・少年女子4名)、クロスカントリー 3名(成年男子2名・少年男子1名)が代表選手として出場しました。試合当日は、悪天候による中断やコース変更等があるなか、選手一人ひとりが上位を目指して健闘しました。

▶ クロスカントリー

成年男子B	**高野弘之**	(㈱伸興サンライズ)	29位
成年男子C	**岩見慎也**	(㈱こびき屋)	29位
少年男子	**吉川真太**	(飯南高校1年)	91位

▶ ジャイアントスラローム

成年男子A	**青木壱沙**	(辻農園)	60位
成年男子C	**澤田拓也**	(松江市役所)	81位
少年女子	**和田絆愛**	(大田高校1年)	46位
	景山和葉	(横田高校2年)	53位
	稲田七星	(飯南高校2年)	75位
	景山　英	(飯南高校1年)	DNF
少年男子	**山﨑智寛**	(松江工業高等専門学校3年)	147位
	佐々木康汰	(矢上高校3年)	160位
	和泉海音	(飯南高校2年)	DNF

熱中できる遊びで子どもたちの未来を創ろう！

令和4年度島根県スポーツ指導者研修会兼島根県スポーツ・レクリエーション関係団体連携・協働推進研修会

令和4年12月17日（土）いわみーる（浜田市）、18日（日）ニューウェルシティ出雲（出雲市）にて、講師に安田式体育遊び研究所所長 居関達彦氏を招き、表記研修会を実施しました。

安田式体育遊び研究所の基本は、共感できる環境をつくることであり、そこにいる子ども達全員がやりたい・遊びたいと思うような指導法を実践されています。運動技能の習得においても、論理的に段階を踏んだ方法が取られており、実際に指導している風景の動画を多く用いてわかりやすく説明がありました。動画では、夢中になってかけっこをしている園児や障がいのある子も楽しそうに体を動かしている光景がありました。居関氏は「人生をつくるのは、経験・言葉・感情であり、人間形成も考慮した指導法として、成功体験や指導者からの声掛けが重要である。」と強調されました。

参加者からは、「動画を見ることができて勉強になった。」「指導の原点を見た気がした。」「目からウロコの話でした。」など多くの指導者に気付きがあったようです。

しまねレクリエーションフェスティバルを開催！

令和4年度はしまねレクリエーションフェスティバルを2会場にて実施しました。

島根県立浜山体育館（カミアリーナ）会場／9月23日（金・祝）10：00～15：00

モルックやスポーツウエルネス吹矢、理学療法士・栄養士からアドバイスをもらうからだチェックコーナー、忍者ランドなどを実施しました。

また、障がい者スポーツとして車いすスラロームやボッチャなども実施しました。

参加者309名は、新型コロナウィルス感染症の影響が出てから最多となりました。コロナ対策も万全にスムーズな運営ができました。また、今回は立正大学淞南高校のライフル射撃部にもブースを担当していただき、高校生が指導者となって会場を盛り上げてくれました。

島根県立体育館会場／11月19日（土）10：00～15：00

上記浜山体育館での実施内容をいくつか変更し、インディアカやユニカール、スポーツチャンバラなど実施しました。

参加者は139名と出雲会場に比べると少なくはなりましたが、障がいのある方の参加が、新型コロナウィルス感染症の影響が出てから最も多くなりました。昨年度からブラインドサッカーを実施しているオロチビートに協力していただき、多くの方にブラインドサッカーの楽しさを体感してもらうことができました。また、白杖体験などの視覚に障がいがある方の日常を体験するコーナーもあり、障がいに対する理解を深めました。

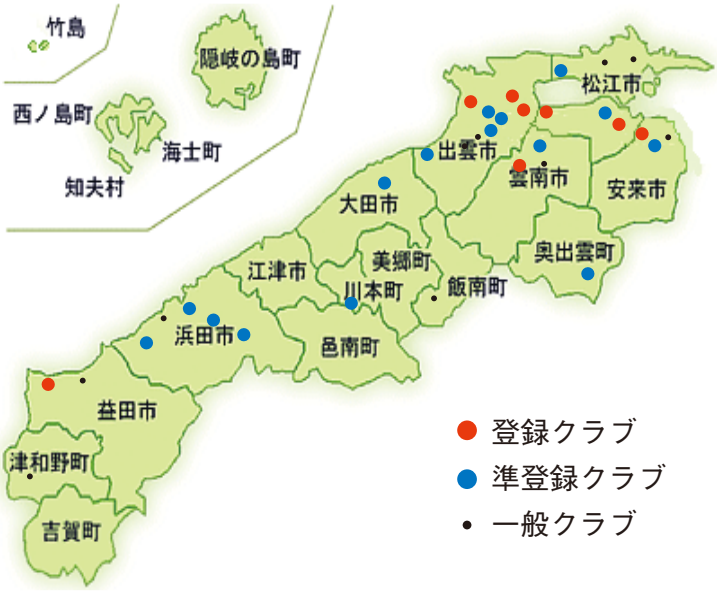
島根県内総合型地域スポーツクラブを紹介します！

～島根県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会加入クラブ～

令和４年４月より全国で総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度※が始まり、県内33クラブのうち８クラブが、登録審査を経て、要件を満たした「登録クラブ」となりました。さらに、15クラブが「準登録クラブ」となり、将来的には全国登録できるよう活動の充実を目指しています。本県では「登録クラブ」及び「準登録クラブ」が連絡協議会の加入クラブとなり、連携を図っています。残り10クラブも「一般クラブ」として地域に根差した活動を実施しており、本会は「登録クラブ」「準登録クラブ」への移行を推進しています。

※活動内容や運営等についての基準が設けられ、登録することで全国の協議会に加入します。
全国の総合型クラブと連携をはかりながら、さらなる発展と地域から必要とされるクラブを目指しています。

登録クラブ	松江市	NPO法人しんじ湖スポーツクラブ
		NPO法人SPORTIVOひがしいずも
	出雲市	NPO法人出雲スポーツ振興21
		NPO法人リバーサイドスポーツクラブ
		認定NPO法人斐川体育協会ひかわスポーツ夢クラブ
	益田市	NPO法人ボアソルテスポーツクラブ
	安来市	NPO法人さくら総合スポーツクラブ
	雲南市	NPO法人Yu-Gaku加茂スポーツクラブ
準登録クラブ	松江市	竹矢スポーツクラブ
		おおの輪・和・ワークラブ
	浜田市	NPO法人かなぎアスレチックきんた
		あさひスポーツクラブ
		みすみスポーツクラブ
		NPO法人浜田フットサルクラブ
	出雲市	はまやまスポーツクラブ
		出雲ファーストクラブ
		スポーツクラブおろち
		スポーツクラブ多伎
	大田市	銀ギンginスポーツクラブ
	安来市	みなみ総合スポーツクラブ
	雲南市	みとやスポーツクラブ
	奥出雲町	奥出雲スポーツクラブ
	川本町	かわもとスポーツクラブ



全国スポーツ少年団交流大会へ！！

第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会島根県予選大会

今年度は26チームが参加し、熱戦を繰り広げました。
優勝チームは、令和5年3月24日から静岡県で開催される「第20回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会」への出場権を獲得しました。

1位 中央レッドハーツ（松江市）

出場コメント

みんなで掴んだ全国大会初出場！！島根県代表としてみんなの想いを背負い私達らしいバレーを！全力で楽しみ、喜び、躍動し、全力プレーで精一杯頑張ります！

2位 荒木縁ジェルス（出雲市）

3位 GINフレンズVBC（大田市）、十神レインボー（安来市）

第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会島根県予選大会

県内各地区から3チーム27名が参加し、熱戦を繰り広げました。
優勝チーム及び個人は、令和5年3月25日から新潟県で開催される「第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会」への出場権を獲得しました。

団体 出雲市スポーツ少年団

出場コメント

4年ぶりに開催される全国交流大会をとても楽しみにしてきました。この大会の開催をしていただく関係者のみなさま、今まで支えていただいた指導者・保護者・友達、全ての方々への感謝の思いを込め、選手一同全力で頑張ります。

個人戦男子 奥出雲町スポーツ少年団 渡部魁斗

個人戦女子 松江市スポーツ少年団 松尾澪里

島根県内競技別交歓会

県内のスポーツ少年団が日頃の団活動の成果を発表する場として、開催市町スポーツ少年団本部と連携し、5競技を実施しました。試合を通して団員同士の交流も深めました。

ミニバスケットボール

期　日 令和4年8月27日(土)・28(日)(主管:出雲市)
会　場 斐川第二体育館　**参加数** 12チーム(参加予定)

サッカー

期　日 令和4年9月17日(土)(主管:松江市)
会　場 松江市総合運動公園　補助競技場　**参加数** 5チーム

バレーボール

期　日 令和4年9月18日(日)(主管:安来市)
会　場 安来市民体育館・伯太体育館　**参加数** 16チーム

軟式野球

期　日 令和4年11月5日(土)・6日(日)(主管:出雲市)
会　場 出雲市内7会場　**参加数** 24チーム

剣　道

期　日 令和4年11月27日(日)(主管:飯南町)
会　場 飯南町立頓原小学校体育館　**参加数** 4チーム

スポーツ医・科学サポート事業に係わるサポートスタッフの研修会を開催しています！

島根県スポーツ協会では島根県からの委託を受け、各高校・中学校の部活動、競技団体のジュニア選手へ医科学専門分野(スポーツトレーナー、スポーツ栄養士、スポーツファーマシストなど)のスタッフを派遣し競技力の向上を図っていますが、本事業に係わるサポートスタッフのスキルアップ、および情報共有を図るために研修会を実施しています。

スポーツファーマシスト

スポーツトレーナー

スポーツ栄養士

私たちは島根のスポーツを応援しています!!!

令和４年度（公財）島根県スポーツ協会賛助会収入

平素より、本県のスポーツ振興と本会の諸事業推進に格別なご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。
令和４年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい経済状況の中、多くの個人・団体・企業の皆様よりご支援、ご協力いただき誠にありがとうございました。
この会費は、生涯スポーツ、地域スポーツの発展や競技力向上の推進に活用してまいります。
今後とも引き続きご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【賛助会収入】

団体・企業	１５４件	３，８００千円
個人	５１１件	１，４２９千円
		５，２２９千円

企業・団体

（令和５年３月22日現在）（敬称略）

30口	一般財団法人島根県水泳連盟
株式会社 MNQ 構造デザイン	株式会社トガノ建設
25口	西部島根医療福祉センター
株式会社山陰合同銀行	株式会社中筋組
20口	出雲大社教教務本庁
中国電力株式会社	カナツ技研工業株式会社
15口	ティーエスケイ情報システム株式会社
山陰中央テレビジョン放送株式会社	株式会社エフエム山陰
10口	株式会社愛スポーツ
株式会社オネスト	株式会社豊和設備
株式会社エブリプラン	まるなか建設株式会社
8口	ミートショップきたがき
株式会社山陰中央新報社	有限会社板谷
7口	大畑建設株式会社
株式会社島根銀行	三和興業株式会社
5口	富士通 Japan 株式会社山陰支社
島根県信用保証協会	株式会社松永牧場
一般財団法人島根県教職員互助会	有限会社二協社
島根電工株式会社	東部島根医療福祉センター
一般財団法人島根経済文化振興会	サンラポーむらくも
株式会社サニクリーン中国	1口
3口	有限会社アルソアいとくま
有限会社セントラルスポーツ	松江市フェンシング協会
島根トヨタグループ	イワタニ島根株式会社江津支店
一般社団法人島根県バスケットボール協会	石原精工株式会社
今井産業株式会社	ピーシーエッグ株式会社
松江土建株式会社	株式会社松文オフテック
セコム山陰株式会社	株式会社佐々木組
北陽ビル管理株式会社	門田産業有限会社
株式会社ミック	佐貫内科医院
公益社団法人松江青年会議所	島根益田信用組合
2口	株式会社電設サービス
出雲北陵中学高等学校	島根県馬術連盟

碧雲観光株式会社
浜田港運株式会社
医療法人嶋本医院
松栄印刷有限会社
中国産業株式会社
医療法人大学前のつ内科クリニック
株式会社ラビット
松江ジムナスティッククラブ
一般社団法人島根県自動車整備振興会
株式会社アトラス
島根県フェンシング協会
柏村印刷株式会社
有限会社オリオン工芸社
島根県弓道連盟
パナソニックソーラーシステム製造株式会社
島根県高等学校体育連盟
株式会社サカタ
東海島根県人会
有限会社クボタ牛乳
大昌株式会社
幸陽建設株式会社
株式会社谷口印刷
山陰酸素工業株式会社
浜田ゴルフリンクス
島根県農業協同組合中央会
株式会社島根マツダ
福間商事株式会社
株式会社太陽電機製作所
島根県農業協同組合くにびき地区本部
サンコー安全株式会社
株式会社原工務店
島根県剣道連盟
有限会社石西環境衛生センター
吾郷会計事務所
一般社団法人島根県医師会
飯古建設株式会社
ごうぎんリース株式会社
名鉄観光サービス株式会社山陰営業所
株式会社サンクラフト
島根県ソフトボール協会
岩井コスモ証券株式会社松江支店
和幸株式会社
有限会社黒川会計事務所
株式会社佐々木建設
株式会社トイント
株式会社トンボ松江営業所
島根中央信用金庫
株式会社コガワ計画
株式会社報光社
島根県中小企業団体中央会
宮田建設工業株式会社
株式会社マツダオートザム松江
有限会社明和機工
公益財団法人島根県環境保健公社
株式会社ソウカン
松江一畑交通株式会社
株式会社内藤組
神州電気株式会社
シンセイ技研株式会社
東武トップツアーズ株式会社
隠岐汽船株式会社
協同組合島根県鐵工会
ナブコドア株式会社松江営業所
島根県ホッケー協会
金城開発株式会社
島根県相撲連盟
株式会社ホテル一畑
島根県クレー射撃協会
有限会社天野鈑金工作所
浜田ガス株式会社
有限会社松江自動車用品商会
フジキコーポレーション株式会社
公益財団法人しまね国際センター
有限会社黒潮社
株式会社大川清風堂
株式会社クラウンタクシー
日本交通株式会社
株式会社太閤堂
島根県体育用品株式会社
有限会社浜田浄化センター
公益財団法人日本教育公務員弘済会島根支部
山陰ヤクルト販売株式会社
和幸電通株式会社
安島工業株式会社
株式会社大建コンサルタント
株式会社ハゼヤマ
株式会社出雲空港カントリー倶楽部
今岡工業株式会社
公益社団法人益田市医師会
北陽警備保障株式会社
株式会社パッケージ中澤
地産工房
小松電機産業株式会社
しまね信用金庫
公益財団法人島根県障害者スポーツ協会
島根県ソフトテニス連盟

個　人

（令和5年3月22日現在、地域別受付順・敬称略）

松　江　市

玉林尚之
伊藤利蔵
安達　等
目次理雄
金津五美
金津萌美
佐藤　健
伊原章吉
客野　智
今井　博
齋藤重徳
安達　寛
石倉國男
田中瑞夫
青木一男
椋木和雄
福田正明
恩田衣子
伊藤　宏
坂根和志
吉岡信道
柏井貴代美
浅野直之
安部山　亨
花本茂人
信太秀夫
有澤　寛
山本篤治
野村　悟
上東重則
馬庭正人
古藤和則
伊藤広志
竹内俊勝
下諸純孝
佐藤行生
秦　康雄
園山喜一郎
佐藤　誠
今岡泰治
英田雄三
横山ヤエ子
大谷幸生
森山洋光
松本洋子
永田敦夫
横田　浩
木原和典
中澤信善
三上昭憲
錦織　健
桐原祥修
野津多智夫
成瀬道明
藤本数章
内田裕美子
内田　学
渡部浩二
佐藤　誠
松本美智恵
西川省三
永野　公
堀江洋志
土谷清治
細田重雄
久保田康毅
田中郁子
宍道正年
藤原美保
福原　保
錦織　勝
穐葉寛佳
藤村　昇
門脇和也
永江和夫
西村　睦
畑田友理
森合雄志
松尾秀孝
松本健治
植田　覚
松本修吉
石倉八千江
入江　豊
林　和博
梶谷朱美
築沢正倫
松浦香代子
白石恵子
太田俊介
小竹原安見
小竹原良雄
泉　宏美治
松浦恭二
井手久武
吉原弘次
田中麻里
島田範明
須谷元保
内藤正洋
新田英夫
松尾周一郎
津森敬次
青山正治
細田浩之
堀江隆典
小池隆之
吉山　治
吉岡太祐
江口博晴
鎌谷正文
井上真紀
今若浩次
清原茂治
中井恵子
原　御代
小村浩二
佐藤勝亮
青砥智訓
高橋慎治
名目良明利
石原正巳
松浦芳彦
萬代俊一
原　成美
長田茂男
安井克久
近藤一幸
髙野伸介
陶山和秀
福間康二
島　大和
小村達良
楫　ひとみ
梶谷香里
田部仁一
安喰　愛
金津義彦
野津浩一
金村亜美
宮崎博子
山本恵子
宮内美穂
坂本　弘
松本大輝
松本加奈子
川島　均
平岡　昇
赤名磨差己
藤井　徹
木村和彦
月森　宏
日高陽生
村松敦子
和田真成
持田康史
小倉庸二
伊達伸也
木谷健二
下岡博司
津森壽一
曳野晃夫
和田義己
斎藤卓男
野津良二
今岡大輔
石橋睦郎
佐川隆文
小川啓継
角森浩一郎
安達　満
高宮正明
花岡真由美
森本敬史
成相　優
高橋雅子
周藤祐太
三神拓郎
樋原敬士
岩﨑正志
河野敏範
林原幹治
田邊香子
藤井洋一
坂本美和子
奈良井浩人
安野　洋
高倉和夫
片岡大輔
中村幸治
嘉藤健二
安部哲朗
小畑芳夫
徳永恵美
江角貴人
堀尾弘孝
新田晃久
廣江純一郎

浜　田　市

渡辺哲彦
石田由紀子
下隅那美子
竹田秋子
神田　茂
野田勝延
南　克巳
床田真由美
大屋俊弘
笠田　守
渡利正幸
川本俊夫
石田義生
安部克也
久保田絹江
檜谷卓夫
花田久子
布田富美
齋藤　隆
錦織正人
岩地宏晶
藤原実果
横山　彬
前田佑真
森脇貫人
安達　章
若月大輝
大山萌菜美
瀬上　悟
飛澤真司
日髙佳代
川本寿夫

出　雲　市

高木弘伸
伊藤道也
山辺浩司
遠藤和則
松本守正
佐藤睦也
陰山仁男
矢野英明
新宮和彦
西　治
渡利　誠
西村隆正
永瀬一成
宍道泰玄
高橋　研
熊谷和夫
安食治外
片寄　進
杉原　治
吾郷朋之
後藤才示
吉田明弘
上代勇夫
吉直正俊
原　薫
池田　一
畑　富美雄
山藤哲夫
陶山　明
古瀬倶之
石原　衛
花房與三雄
今岡　充
今岡一朗
糸賀克己
佐藤健司
井場　浩
山﨑　功
石田和也
真玉保浩
岡　透
曽田明浩
藤間博之
小仲靖子
伊藤徳広
野津有生子
岩本紘明
土江健太
飯塚　佑
片寄歩美
竹下湖南
安井　守
古居　晃
梶谷和正
浜渦宜男
花原良治
梶谷　悟
持田守夫
岩本亜砂美
錦織久美子
錦織美香
錦織政輝
石原弘之
江角　学
清水　明
昌子　裕
西尾　淳
高橋直之
宮阪敏章
宝正隆志
角田裕之
園山　学
長谷川利寿
片寄翔一郎

益　田　市

安野光城
椋　三佐子
北村芳則
田中八洲男
鼠谷　清
坂本靖夫
森山眞治

中村展久
岸　卓臣
大門剛治
角田義文
岸　政信

大田市
安田隆司
髙野由季子
髙野郁子
濵田　尚
井上節郎
井上和朋
北尾正勝
三谷耕司
生越俊一
小野眞一
吉田耕一
楫野恭久
森脇岸江
柿本　章

安来市
石倉刻夷
生和弘之
小林淳一
田中明美
今井章雄
荊尾　俊
朝山浩行
嘉本祐一
吉村憲治
山﨑悠雄
井塚嗣夫
島田一嗣
安井章二
田辺　順
菱本紫那
藤原常義
広江　靖
竹谷　一
門脇眞由美

江津市
森脇健臣
田中利徳
山藤典子
木原　清
中村征雄
中西一郎
西川幸三
濵岡繁人
豊田美香
佐々木澄江
河井テル子
河井誠治
河井満江
周　珂
河井美保

雲南市
三浦尚二
落部章二
山根成二
金築　聡
永瀬豊美
梅木祥司
佐藤弘之
佐藤正範
井谷寿幸
大倉昭憲
中祖綾菜
門脇範明
広沢卓嗣
内田伸治

奥出雲町
栗原久美子
絲原徳康
小櫻和裕
安部純生
川島長利
長谷川庸雄
早戸美優

飯南町
山碕英樹

川本町
青木和昭
野坂一弥

美郷町
山根啓史
漆谷千鳥

津和野町
福田和文
佐山　一
田中　修
岩本悦実

隠岐の島町
髙梨俊夫
髙村行雄

東京都
林　宏匡

栃木県
橋爪さやこ

広島県
宇郷秀広
小川和秀

山口県
臼井正徳

【お詫びと訂正】

ShimaSpoだより第122号(2022年9月発行)に掲載した「賛助会員」の氏名表記に誤りがありました。
正しくは下記のとおりです。
17ページ　(正)　横田　浩　(誤)横山　浩　18ページ　(正)　山崎英樹　(誤)石崎英樹
関係各位及び読者の皆様にご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、訂正させていただきます。

「賛助会員」について

本協会では、本県スポーツのさらなる充実・発展や２０３０年に開催する「島根かみあり国スポ」に向け次世代を担う子ども達への支援、生涯スポーツ普及・振興などのご支援、ご協力をいただける新規会員の拡大に努めています。

何卒趣旨をご理解いただき皆さまからの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、公益法人への寄附金については税法上の優遇措置が適用されます。

チーム島根を応援してください

金額:　企業・団体　1口　10,000円　　個人　1口　2,000円

賛助会員に加入されるとこんな特典があります!

1. 広報誌を年2回送付させていただきます。
2. 広報誌へお名前を掲載させていただきます。
3. 企業・団体のお名前を本協会ホームページへ掲載し、島根のスポーツ支援団体としてPRさせていただきます。
   ※ご希望がございましたら、貴企業・団体のホームページとのリンクも可能です。
4. 個人会員の皆様へは、「県立体育施設無料利用券」を贈呈いたします。
5. 賛助会費は税法上の優遇措置が受けられます。

◆賛助会加入申込用紙については、島根県スポーツ協会事務局、県立水泳プール、県立武道館、県立体育館、県立石見武道館、県立サッカー場にございます。また、ご連絡いただければ申込用紙を送付いたしますので、右記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】
〒690-0873　島根県松江市内中原町20-1
城南ビル3階
(公財)島根県スポーツ協会　総務・企画課
TEL:0852-21-5388　FAX:0852-26-4733
E-mail:info@shimane-sports.or.jp

小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

4名以上の団体・グループで
ご加入ください。

保険期間

令和5年4月1日午前0時から
令和6年3月31日午後12時まで

保険内容

詳しい保険の内容は、
ホームページなどをご覧ください。

加入区分・掛金

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金（1人当たり）
子ども※（中学生以下）	スポーツ活動 文化活動　ボランティア活動　地域活動	A1	800円
大人（高校生以上）	スポーツ活動（指導・審判を含む） ●A2区分で対象となる活動も補償されます。	C（64歳以下）	1,850円
		B（65歳以上）	1,200円
	文化活動　ボランティア活動　地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ●スポーツ活動中の事故は補償の対象外です。	A2	800円
全年齢	危険度の高いスポーツ（指導・審判を含む）	D	11,000円
子ども※（中学生以下）	ワイドコース（個人活動補償型） A1 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	AW	1,450円
大人（高校生以上）	C 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	CW（64歳以下）	4,850円
	B 区分の補償となる団体活動に加え、個人活動も対象	BW（65歳以上）	5,000円

※特別支援学校高等部の生徒を含みます。　年間掛金には、制度運営費（10円）が含まれます。
（注）C・B・CW・BW区分の年齢の判断は「令和5年4月1日」を基準とします。

スポあんネット

パソコン・スマホで
だれでも、かんたん
便利に使いやすい！

公益財団法人 スポーツ安全協会

スポーツ安全保険 検索

LINE 公式アカウント

友だち募集中！

本広告はスポーツ安全保険の概要を掲載しており、ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」及び「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款及び特約書によりますが、ご不明の点については（公財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険（株）へお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
0120-233-801
（平日9:00～17:00）

〈共同引受保険会社（令和5年4月予定）〉
あいおいニッセイ同和　共栄火災　損保ジャパン　大同火災　東京海上日動　日新火災　三井住友海上　AIG損保

令和4年12月作成　22TC-100081